

## 大和市長立病院経営計画 運営審議会・パブコメ等でいただいた意見・内部調整等で指摘を受けた内容、及びその対応方針

No	提言内容等・ページ	提言者	対応方針
1	<p>第5章 経営形態の見直し (P21～23)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全部適用へ移行することで、その先の地方独立行政法人化や指定管理等の経営形態への移行が将来的に考えられることから、慎重に判断すべき。</li> <li>・ 全部適用へ移行し、市長ではなく、病院のトップ（事業管理者）が病院を動かしていった方が良い。</li> <li>・ 指定管理への移行が様々な分野で行われているが、利用者の立場からすると必ずしも改善しているとは思えない。</li> <li>・ 給与決定に柔軟性が持てるならば、診療報酬に影響する資格に関して手当を設けるのも一つの手段。</li> </ul>	運営審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえて、（本庁側と）更なる検討を重ね、できるだけ速やかに方向性を出していきます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要なポイントは指定管理者に権限を委譲させ、より柔軟で効率的な病院経営を目指す事だと感じた。ただ、現状の何に問題があり、指定管理者への権限移譲でどう乗り越えられるのか不明。</li> <li>・ 指定管理事業者を活用する事で、よりコスパが良い病院経営ができるならやって欲しい。ただ、医者・看護師・医療スタッフを酷使するのは、やめて欲しい。</li> <li>・ 佐賀の元武雄市長の樋渡啓祐氏は市民病院の民間移譲で財政の健全化を図ったらしい。このパブコメを読む限り、大和市もそういう事がしたいのだと思う。大和市にどのような政策がフィットするかは分からないが、より良い政策を望む。</li> </ul>	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「健康」を市政運営の中心に据え「健康都市」を目指す本市では、政策医療の継続性の担保が重要であることから、指定管理委託については、検討対象から外しています。</li> </ul>
3	<p>第7章 施設・設備の最適化 (P25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院建て替えの計画はあるか？チームを作って検討していくことが重要ではないか。</li> </ul>	運営審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画本文にも記しましたとおり、まずは建て替えが実現可能な財務状況になることを目指します。</li> </ul>

No	提言内容等・ページ	提言者	対応方針
4	<p>第8章 経営の効率化等</p> <p>(1)経営指標に係る数値目標の設定</p> <p>④経営の安定性に係るもの(P29) ○看護師数</p> <p>・7階南病棟の急性期化を進めるにあたって看護師を増員していくとの話があったが、全体数に変更はないのか？</p>	運営審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新興感染症への平時からの取組として、7階南病棟を急性期に転換し看護師を増員することを想定していることから、看護師数を変更します。 → 変更後、2024：367人 2025：372人 2026～2027：374人 考え方「地域で必要とされる医療機能維持に必要な人数とします。」</li> <li>・職員数の考え方として、医師数と看護師数の考え方は統一すべきと考えるため、医師数の目標設定の考え方も看護師と同じとします。</li> </ul>
5	<p>第9章 目標達成に向けた重点的な取組項目</p> <p>施策方針2 機能分化で進化する地域連携 (P33)</p> <p>・地域包括ケア病棟を急性期病棟へ転換するにあたっては、救急の充実と新興感染症対応として確保病床 51 床を目指すことを条件とする。</p>	県央地域ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「救急の充実」は施策方針1で対応しています。</li> <li>・新興感染症対応に関連して「①目指す姿」の最終段落の後に、次の事項を追記します。 「さらに新興感染症対応では、これまでも重点医療機関として中等症の患者を受け入れてきましたが、公立病院が期待される役割は大きいことから、感染拡大時には7階南病棟を専用病棟化し、全体で最大51床の受入を目指し、平時から受入体制を整えていきます。」</li> </ul>
6	<p>第9章 目標達成に向けた重点的な取組項目</p> <p>施策方針3 コスト削減による経営改善 (P35)</p> <p>・経費削減は、収入に連動する材料費等に限定せず、委託等固定経費の削減についても明文化すべきでは。</p> <p>・委託を進めることで、低いモチベーションの病院スタッフが増えることもあるので注意が必要。</p>	運営審議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BSC(バランススコアカード)視点のうち、業務プロセスに次の内容を追加します。 (方向性) (具体的実践項目) <u>固定経費の削減</u> <u>ICT活用等による委託費等固定経費削減の検討</u></li> <li>・必要に応じて、今後も業務の委託化を推進していきます。 なお、業務の委託化にあたり、委託業者と本院の基本理念を共有化し、連携を高めていくことで、委託業者のスタッフ一人一人のモチベーションを向上していくよう努めています。</li> </ul>
7	<p>第10章 計画指標の進行管理について</p> <p>9(2)1 救急車受入件数</p>	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標(誤)4,200件→(正)4,388件</li> </ul>